各 位

会 社 名 東邦アセチレン株式会社 代表者名 取締役社長 櫻井 琢平 (コード番号 4093 東証第2部) 問合せ先 経営管理部長 久米 忠 (TEL.03-5687-5201)

関係会社の解散およびそれに伴う特別損失の発生 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年3月28日開催の取締役会において、下記のとおり当社の持分法適用関連会社である日本海アセチレン株式会社を解散することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、これに伴う特別損失の発生が見込まれると共に、最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月15日に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

. 関係会社の解散

1.解散に至った経緯

当社は昭和 53 年 3 月に株式会社クラレとの共同出資により、日本海アセチレン株式会社を設立し、同社にてアセチレンの製造、販売を行っております。

同社のアセチレンは、主に株式会社クラレの新潟事業所で生産されている合成香料の原料として供給され、一部は当社が購入し販売しております。

今般、株式会社クラレの合成香料は平成20年3月31日をもって生産を停止することが決定されました。その結果、日本海アセチレン株式会社の生産量は大幅に減少することとなり当該事業の継続が困難との判断をいたし、会社を解散することとしたものです。

2.解散する持分法適用関連会社の概要

- (1) 商 号 日本海アセチレン株式会社
- (2) 所 在 地 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 3 号
- (3) 代表者 取締役社長 福盛 孝明
- (4) 設立年月日 昭和53年3月7日
- (5) 資 本 金 60 百万円
- (6) 事業内容 アセチレン、副産消石灰の製造販売
- (7) 株 主 構 成 当社 41.7%、株式会社クラレ 54.2%、東邦新潟株式会社 4.1%

3.今後の日程

解散決議 (予定) 平成 20 年 4 月 清算開始 (予定) 平成 20 年 5 月

4.業績に与える影響

今般の関係会社の解散により清算損が発生することから、関係会社清算損として特別損失へ連結で約90百万円、個別で約80百万円計上する予定であります。

業績予想の修正

1. 平成20年3月期業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(1)連結 (単位:百万円、%)

| | · /Æ/II (+E-I)/13(// | | | | |
|----------------|-----------------------|-------|-------|-------|--|
| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | |
| 前回発表予想(A) | 38,000 | 1,400 | 1,500 | 350 | |
| 今回修正予想(B) | 39,000 | 1,200 | 1,300 | 380 | |
| 増減額(B - A) | 1,000 | 200 | 200 | 30 | |
| 増減率(%) | 2.6 | 14.3 | 13.3 | 8.6 | |
| 前期実績(平成19年3月期) | 38,469 | 1,460 | 1,590 | 563 | |

(2)個別 (単位:百万円、%)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 23,500 | 500 | 600 | 200 |
| 今回修正予想(B) | 24,500 | 380 | 450 | 100 |
| 増減額(B - A) | 1,000 | 120 | 150 | 100 |
| 増減率(%) | 4.3 | 24.0 | 25.0 | 50.0 |
| 前期実績(平成19年3月期) | 23,383 | 530 | 659 | 205 |

2.修正理由

(1)連結

売上高は、一般高圧ガスが概ね順調に推移し、液化石油ガスは国際的なLPG市況高騰により出荷数量の減少がありましたものの、販売価格の是正により増収の見込みであります。一方、営業利益および経常利益は、素材原料の国際的な市況高騰による仕入価格の上昇や、それに伴う物流費および電力コストの負担増に加え、上昇分の販売価格への転嫁が厳しく、減益の見込みとなりました。当期純利益は、経常利益の減少、および上記 に記載の通り持分法適用関連会社の解散に伴い清算損が発生するものの、貸倒実績率の低下による貸倒引当金戻入益の特別利益への計上、および当連結会計年度に特別損失に計上した過年度役員退職慰労引当金繰入額のうち、当期支払いによる法人税等の軽減により、若干の増益の見込みとなりました。

(2)個別

売上高、営業利益、経常利益は、上記連結業績予想の修正と同じ理由であります。当期純 利益は、経常利益の減少、および上記 に記載の通り持分法適用関連会社の解散に伴い清算 損が発生することから、減益の見込みとなりました。

以上